

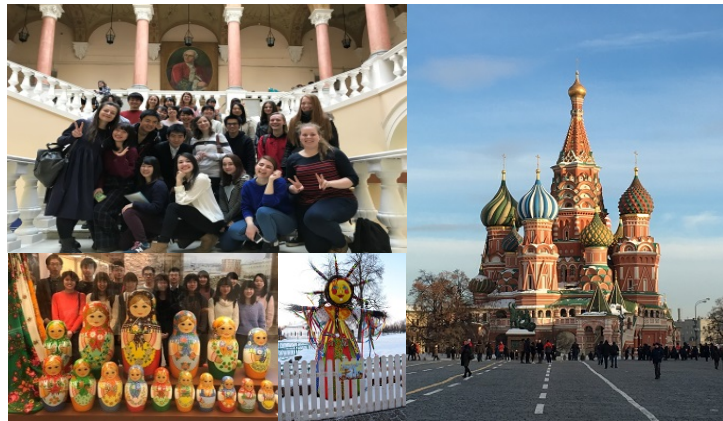
FLとは…単に言語を学習するプログラムではなく、“言語を活用”しながら
“テーマ別の課題解決に挑む”、教員引率型海外研修プログラムです。

スペインコース 2月10日～2月24日
プログラム提携大学：マドリードコンプルテンセ大学



スペインの歴史、文化に触れ、人との交流を通じて自身を成長させるプログラム

ロシアコース 2月20日～3月7日
プログラム提携大学：モスクワ国立大学



現地学生との交流で“近くて遠い隣国”
ロシアがグッと身近になる2週間

オーストラリアコース 2月24日～3月9日
プログラム提携大学：メルボルン大学



「多文化社会」を感じ、探り、考え、比べて、日本の近い将来を思い描こう！

ドイツコース 3月10日～3月24日
プログラム提携大学：パダボーン大学



ドイツ人学生と英語で課題解決型プロジェクト。確実に成長したい人におすすめ

<募集説明会開催>

場所：東北大学 川内南キャンパス 文科系総合講義棟 2階法学部第2講義室 201 及び 1階コモンスペース

概要：10月10日（水）、11日（木）

- 4プログラム合同全体説明 12:20～12:50 2階 法学部第2講義室 201
- 個別説明（プログラム別Q&Aコーナー） 12:00～13:00 1階 コモンスペース

お問合せ：株式会社 JTB 仙台支店 ファカルティレッドプログラム係

E-mail: faculty-led@jtb.com | Tel: 022-263-6726 | 担当者：田澤 康輝・戸張 正美

	スペインコース	ロシアコース	オーストラリアコース	ドイツコース
				
テーマ	マドリードで学ぶ スペイン語とスペイン文化	見て、聞いて、話して深める 日露相互理解	メルボルンで学ぶ 文化的多様性と多文化社会	課題解決型のフィールドワーク を通して「ドイツ」に学ぶ
派遣先	スペイン・マドリード 他	ロシア・モスクワ 他	オーストラリア・メルボルン 他	ドイツ・バダボーン 他
派遣人数 (予定)	14名	15名	20名	14名
実施期間	日本出発日 2月10日(日) 日本帰国日 2月24日(日) 15日間	日本出発日 2月20日(水) 日本帰国日 3月7日(木) 16日間	日本出発日 2月24日(日) 日本帰国日 3月9日(土) 14日間	日本出発日 3月10日(日) 日本帰国日 3月24日(日) 15日間
参加対象	全学部生、大学院生 (学部生優先)	学部1、2学年 日本国籍または日本永住者	全学部生、大学院生 (学部生優先)	全学部生、大学院生 (学部生優先)
語学要件	有り (スペイン語学習歴があること)	有り (TOEFL、IELTS、TOEIC受験経験者)	無し (TOEFL-ITP®スコア500以上が望ましい)	無し (TOEFL-ITP®スコア500以上が望ましい)
滞在形態	学生寮	学生寮	ホテル	ホテル
参加費用 奨学金	25~30万円程度 (航空券、現地滞在費、 滞在費、海外保険等) ◆食費、現地交通費等は別途必 要になります。 ◆8万円の奨学金を支給予定。	7~10万円程度 (現地滞在費、滞在費、 海外保険等) ◆食費、現地交通費等は別途必 要になります。 ◆10万円の奨学金を支給予定。	25~30万円程度 (航空券、現地滞在費、 滞在費、海外保険等) ◆食費、現地交通費等は別途必 要になります。 ◆7万円の奨学金を支給予定。	25~30万円程度 (航空券、現地滞在費、 滞在費、海外保険等) ◆食費、現地交通費等は別途必 要になります。 ◆8万円の奨学金を支給予定。
現地 研修 内容 (予定)	<ul style="list-style-type: none"> 参加学生の希望や意欲を反映させたプログラムとなります。 午前は語学研修、午後は文化を学べる場所でのフィールドワークを実施。 マドリード市内の文化施設訪問や世界遺産の街トレド、歴史的遺産の多いセゴビア(予定)へのフィールドトリップを実施する。 現地学生との交流や日本文化の紹介を行う。 スペインに関するテーマについて調査し、プレゼンテーションを行う。 <p>担当引率教員： 高度教養教育・学生支援機構 セシリア・シルバ 准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> ロシアの名門大学であるモスクワ国立大学でロシア語、ロシア文化などを学ぶ。 現地学生に対して、日本、東北・仙台、東北大学について紹介する。 独立非営利法人「日本センター」を訪問し、学生および社会人日本語学習者との交流会に参加する。 日本の外郭団体モスクワ事務所を訪問し、日露交流の意義と重要性について学ぶ。 現地での研修、現地学生とのプロジェクトワークを通して情報発信と情報発信力について学ぶ。 モスクワ市内の文化施設や世界遺産へのフィールドトリップ。 ロシアの節分「バター祭り」でロシア文化を体験する。 <p>担当引率教員： 国際連携推進機構 ロシア交流推進室 徳田 由佳子 特任助教</p> <p>国際連携推進機構 国際連携推進室 三隅 多恵子 特任准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> オーストラリアの多文化主義による多文化社会を肌で感じ、未来の日本の多文化社会を考えるプログラム。 「多文化」をテーマに、参加者がグループで個別のトピックに沿って探究する。 講義では、メルボルン大学の講師と現地で活躍する日本人から、多文化社会での学びや海外で生活することについての知見を得る。 メルボルンの市内および郊外でのフィールドワークを実施する。 ディスカッションやプレゼンテーションなどにおけるアカデミックな場面での英語レッスンが含まれる。 現地学生との交流やプロジェクト指導がある。 現地の教員や学生に東北大学を紹介するプレゼンテーションを行う。 <p>担当引率教員： 国際連携推進機構 高度教養教育・学生支援機構 米澤 由香子 准教授</p>	<ul style="list-style-type: none"> ドイツ国内の複数都市でプロジェクト型協働フィールドワークを行う。 「ドイツと移民」をテーマに、参加者がそれぞれの関心に沿ったサブテーマを設定し、バダボーン大学の学生と一緒に課題解決型学習に取り組む。 バダボーン大学でドイツ語、ドイツ文化、移民政策について学ぶ。 その他ドイツの名門大学であるゲッティンゲン大学、ケルン、ベルリンでフィールドワークや文化体験を行う。 ドイツの移民や移民支援団体へのインタビューを通して、教科書では学べないリアルなドイツの現状に迫る。 現地学生と「Culture Night」を企画し、大学関係者や地域の人々との交流を深める。 東北大学の紹介やプロジェクトの成果報告などプレゼンテーションを行う。 協働プロジェクトを通して、国・専門・学年を越えた人的ネットワークを形成する。 <p>担当引率教員： 高度教養教育・学生支援機構 末松 和子 教授</p>

- 上記内容は、変更の可能性がありますので予めご了承ください。
- 航空機の予約状況により、航空運賃に変動の可能性ありますので予めご了承ください。
- 為替レートの変動により、現地滞在費に変動の可能性ありますので予めご了承ください。
- 外国人留学生、大学院生が参加する場合、プログラム費は全額自己負担となります。
- なお、奨学金は、外国人留学生(在留資格が「永住」の場合を除く)は受給不可となります。
- 非正規学生は申し込み不可となります。

プログラムの現地情報は、
右のQRコードから見られます。



お問合せ : 株式会社 J T B 仙台支店 ファカルティレッドプログラム係

E-mail: faculty-led@jtb.com | Tel: 022-263-6726 | 担当者: 田澤 康輝・戸張 正美